

# 組合活動の大事さ伝えた《労働学校》

## 《要求運動》と《自治研活動》で働きがいある職場を



10月9日、県本部労働学校（2日目）をweb併用で開催し、13単組31人が参加しました。

組合経験での学び伝える 第三講義では「民主的自治体労働者論の実践」について県本部和氣伸二書記長を講師に学びました。自分自身を「当初は声も上げない組合員だったが、紆余曲折を経て単組委員長になった」と振り返り、総務部長や市長にも組合員の代表として権利主張できる組合へ、自治労連共済全員プレゼントで役員に関わりをつくらせたこと、西日本豪雨被災直後から自治労連の全国の仲間がボランティアで

毎週西予市を訪れ、体は大変だったが絆を感じたなど話し、「組合は絶対なくしちゃいけない、皆さんも役員になったきっかけを思い出し、単組や自治労連を盛り上げてほしい」と語りました。

財政読み解き要求強く 第四講義は「自治体財政分析と平成の市町村合併から新型コロナウイルス」と題して、新居浜市職員の三宅杏菜さんを講師に「自治体財政のしくみ」を学びました。自治体財政の基本と決算カードの読み方など詳しく説明し、新居浜市での平成の大合併・災害発生時・コロナ禍の財政状況、財政健全化のとりくみなど解説しました。続いて、県本部森賀俊二副執行委員長が今後の財政分析の進め方を補足。「自治体の財政状況を読み解き、当局にも反論できる知識を身につけよう」と今後の各単組での財政分析の実施を提案。学習の重要性を改めて認識した「労働学校」となりました。

**【労働学校】「民主的自治体労働者論」「決算カード・財政」を学習**



○人員・労働時間管理  
【H町】ワクチン接種は限られた人数での対応で

○定年引上げ  
【P市】定年引上げの条例改定は来年6月議会準備をすすめている。

○初任給など賃金改善  
【A市】人勤は国準拠が基本だが組合と交渉し決めた。【B市】初任給は県に準じて改定。会計年度任用職員の期末手当は2年連続で下がるので何らかの対応を検討する余地がある。【C社協】来年度からの給料表・昇給算格基準の改善を予定。【D施設】人材不足が続いている。定年退職者に再任用制度を活用しているが、賃金面で課題がある。【E病院】来年度の採用はコロナ関係でずれ込んでおり、来年になれば明らかとなる。《組合》近隣市町より初任給が低い。人材確保へ初任給など検討が必要な時期などではないか。【F施設】最賃が上がったことを踏まえ、非常勤の時給引き上げを検討。【G市】ラス指数が上昇するので初任給などの改善は難しい。

○子育てなど両立支援  
【N町】子どもや高齢者（両親など）がワクチン接種する場合の同伴などは特別休暇で対応。男性の育児取得者は実績が未だにゼロで、取得者の経験を活かすとりくみを行いたい。【O施設】男性の育児取得が見込める職員がおり取得を促す。

○秋・年末統一要求提出  
10月19日、県本部は全県で統一要求書を提出し要請を行いました。【文責・県本部】

職員に一時的に無理が生じたため働き方に配慮している。【I市】残業の見える化を検討。再任用職員が増え新規採用抑制になっている。【J市】PCでの時間管理などは経費が大きく、予算確保できていない。【K市】労働時間管理はICカードを導入、今後は勤務実態の乖離調査などデータ活用が課題。【L市】ノーマル残業デーは電算システム等がすべて使えなくなる設定。【M市】採用への応募が減っており、技術職採用が困難。来年度3人採用予定だが1人しか確保できていない。

**【秋季・年末統一要求提出】**



発行所  
自治労連愛媛県本部  
松山市三番町8丁目10-2  
電話(089)931-7312  
FAX(089)933-1699  
jehime@sage.ocn.ne.jp  
発行人 高尾 佳孝  
編集人 和氣 伸二  
(組合員の氏名は組合員の同意なく含まれていません)

第538号

日程

【11月】

- 15 県本部拡大執行委員会 県市町振興課要請
- 17 東予総支部代表者会議
- 19 津島古田病院局労組定期大会
- 23 女性部幹事会
- 27 四国ブロック総会・事前会議（徳島）
- 28 四国ブロック共済学校（徳島）

【12月】

- 4 青プロ四国プレ企画（愛媛・高知）
- 5 伊方原発訴訟10年12・5集会（コムズ）
- 11 県本部拡大執行委員会
- 12 女性部定期大会
- 19 保育部会幹事会

【1月】

- 7 県本部拡大執行委員会 愛媛労連新春合同旗びらき集会



### 青プロ四国プレ企画12月4日開催!



**《県自治研集会in西条》**

11月7日「第62回地方自治研究愛媛県集會」(西条市)に85人が参加。玉井敏久・西条市長から「皆さんがそれぞれの立場からの意見を持ち寄り、互いに理解を深め合うことで、愛媛県内の各々が発展するきっかけになることを、ご期待申し上げます」と歓迎メッセージが寄せられました。

午前《分科会》は、①デジタル化と地域経済、②医療現場のデジタル化、③保育、④自治体財政分析「市町村合併からコロナ禍まで」、⑤青年講座「デジタル化でどうなる職場と働き方」の各テーマで交流しました。

午後《全体会》は「2つの記念講演」を行いました。【記念講演①】「ローカルベンチャーとコモンズの可能性」安形真さん（二社）リズカーレ代表理事、「日本の寄付文化を地方からDXでアップデートする」鈴木直之さん（ZENTECH代表）はデジタルを活用した西条市での活動を紹介。安形さんは、西条市の特徴をいかし起業できる人材を集めた起業支援のとりくみを話されました。鈴木さんは、寄付分配アプリ『ZEN』の運用について説明。ZENアプリで、西条市のために資金提供する人と活動資金を必要とする人をマッチングし、活動情報を評価してZENが寄付できる体制の確保などデジタルに替えられない自治体職員の役割発揮を、など話されました。

**《県自治研》西条市での起業支援・具体的とりくみ**

デジタル化の視点と課題など学びあう

11月7日「第62回地方自治研究愛媛県集會」(西条市)に85人が参加。玉井敏久・西条市長から「皆さんがそれぞれの立場からの意見を持ち寄り、互いに理解を深め合うことで、愛媛県内の各々が発展するきっかけになることを、ご期待申し上げます」と歓迎メッセージが寄せられました。

午前《分科会》は、①デジタル化と地域経済、②医療現場のデジタル化、③保育、④自治体財政分析「市町村合併からコロナ禍まで」、⑤青年講座「デジタル化でどうなる職場と働き方」の各テーマで交流しました。

午後《全体会》は「2つの記念講演」を行いました。【記念講演①】「ローカルベンチャーとコモンズの可能性」安形真さん（二社）リズカーレ代表理事、「日本の寄付文化を地方からDXでアップデートする」鈴木直之さん（ZENTECH代表）はデジタルを活用した西条市での活動を紹介。安形さんは、西条市の特徴をいかし起業できる人材を集めた起業支援のとりくみを話されました。鈴木さんは、寄付分配アプリ『ZEN』の運用について説明。ZENアプリで、西条市のために資金提供する人と活動資金を必要とする人をマッチングし、活動情報を評価してZENが寄付できる体制の確保などデジタルに替えられない自治体職員の役割発揮を、など話されました。

報の評価でZENが寄付できるしくみをつくっていることなどを説明しました。

【記念講演②】「デジタル化と自治体業務」として、佐賀達也さん（自治労連中央執行委員）が講演。「デジタル化はツールとデータにわけて考える必要がある、その目的とルールがあるか、誰のためのデジタル化かわかる」など指摘し、行政の中立公正を守る体制、個人情報などの権利を守る、デジタル技術は職員の代替ではなく補助手段、重要なのは職員がシステムチェックで行政責任を果たせる体制の確保などデジタルに替えられない自治体職員の役割発揮を、など話されました。

### 給与改善、労働時間管理、人材確保、魅力ある公務職場づくり、など要請

10月27・28日、県本部市職評議会・町村評議会は県市長会長・県町村会長に要請を行いました。

10月27日、県市長会長要請では武智会長（伊予



### 《県市長会長・町村会長要請》

市長）に要請書を手渡し高尾県本部委員長が主旨と重点を説明。武智会長は「大卒の給料はほぼ上がっていないのは承知しているが、介護・看護職含め国のテコ入れなしに上げられない。起案する立場の国家公務員の長時間労働が多く、そこから変わらなければと思う。報道相もできないほど職員がメンタル不全となつてはならない。課の職員の状況を横断的に把握でき、冗談も言い合えるような組織めざし、給与や労働時間改善など考えていく。必要事項は各市長・共済組合へ伝える」と回答しました。各市職代表から人材確保、労働時間管理、会計年度任用職員改善などの要望を伝えました。



### 《県公務員共闘》

10月12日、県公務員共闘会議（自治労連・県教組・県国公）は、県に対し「定年引上げ」に関する要請を実施。「県の感染対策期が明けてから」との連絡があり、この日

「定年引上げ」課題で県入要請働き続けられるようよい制度求める

に実施となりました。県公務員共闘会議からは3人参加、県は人事係長・給与係長の2人が対応。公務員共闘から11項目の要請を行いました。県からは、定員管理について総務省がおそらく今年度中に何らかの方針を示すと思われるが、それがなければこちらも具体的に提示できる制度がない。

### 【医療介護評】定期総会の開催にあわせて課題多い「宿日直勤務」学習会



県本部医療介護評は10月23日、定期総会を西予市で開催し新旧役員合わせて4単組9職場13人が参加。総会に先立ち、学習企画「関係法令から見ると『宿日直勤務』のありかた」と題して県本部高尾委員長を講師に学習。資料をもとに間違つた宿

### 【今要求】組織拡大重点に活動を



今治市職は10月27日、定期大会を開催し、代議員・役員など約40人が参加。はじめに佐々木委員長が「今年は昨年に続き新型コロナウイルス影響で活動が十分できなかったが組合説明会、新採向けセミナー、全会計年度職員対象アンケート実施など工夫し活動をすすめた」とあいさ

### 《情プロ四国》12/4高知・愛媛でプロ企画開催 2022年青プロ本番6月に



10月16日「青プロ四国実行委員会」をweb会議方式で開催し四国4県から14人が参加。この間の全国のとりくみ状況を報告し、青プロ四国企画について相談。高知からは12月4日『DOCK I WAKU JAPAN ポリ運動会』を開催したいと提案があり、愛媛は『ド

直の運用例と是正方法などレクチャー。参加者から職場実状に沿った質問が次々出されました。総会では1年間の職場活動が報告され、次期役員体制で会長に岩藤さん（津島病院）の選出を全会一致で確認。閉会では退任の山内会長から「2年の短期間だったが幹事会などに参加し知識を広げられた。機会があれば幹事会にも参加したい」とあいさつしました。

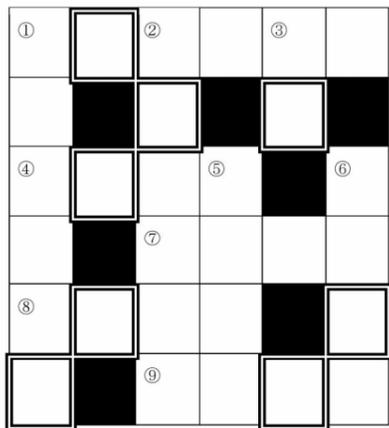
つ。運動方針では「組合員の声を重視した要求活動」「組織拡大を最重要課題と位置付け、他市町などのとりくみを参考に組合員を増やす」など提案。討論では、青年部、女性部、保育部会、給食部会などから発言があり、参加者の拍手で全ての報告・提案を承認。新旧役員紹介と新採組合員紹介先輩からプレゼント贈呈を行い、団結ガバローで大会を締めました。

### 【ヨコのカギ】

- ① 広告宣伝の役割を担う有名人のこと
- ④ 並外れて強い力
- ⑦ 岡山県の郷土料理、酢漬け
- ⑧ 糸の切れ端。糸のくず
- ⑨ ネコ科の哺乳類。雄にはたてがみ

### 【タテのカギ】

- ① (和製語) 小説やドラマなどを漫画化すること。コミック化
- ② 熱のあるとき、これで頭部など冷やす
- ③ 昨日の敵は今日の〇〇
- ⑤ 相手と気持ちがしっくりせず、ばつが悪い。〇〇〇〇雰囲気
- ⑥ (英語) 100万



出題者 堀川孝行

マス目を埋め、二重枠の8文字で、西予市野村町の日本唯一...にして下さい。

■536号のバズルの答えは「トドドブツェン」(砥部動物園)でした。正解は11通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

大西 京子(周桑病院)  
水元美恵子(伊予)  
岡崎 美都(宇和島)  
菊池奈緒子(西予)  
野尻 雅裕(今治)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載  
【締切り】12月27日【発表】540号(1月号)

### おたより ありがとう

てくれたらうれしいなと思います。(伊予・岡本)

■コロナで暗いニュースばかりですが、真鍋さんのノーベル賞授賞で日本中パツと明るくなりました！とてもすばらしいですね！(新居浜・藤原)

■料理を今まではレシピ通りに作るしかできません。逆に料理上手の人はレシピを見ず、イメージの味で美味しい料理を作っています。彼らの頭の中に精密なキッチンがあるので、上がっていつ

てくれたらうれしいなと思います。(伊予・岡本)

■コロナワクチン集団接種業務が無事終了しました。収束まであともう一歩、頑張りたいと思います。(今治・木村)

■コロナ禍の中、心も体も何か癒しを求めているところ、目を留めたのがクロスワードでした。頭の癒しになりました。(西条・頼木)